平成26年６月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年２月６日

上 場 会 社 名	株式会社ファーストエスコ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9514	URL	http://www.fesco.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)島崎　知格	
問合せ先責任者	(役職名)常務取締役	(氏名)小池　久士	(TEL)03(5299)8525

四半期報告書提出予定日　　平成26年２月14日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

１．平成26年６月期第２四半期の連結業績（平成25年７月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年６月期第２四半期	3,751	41.0	679	250.1	606	662.5	748	―
25年６月期第２四半期	2,661	△3.5	194	72.1	79	31.7	△187	―

（注）　包括利益　　26年６月期第２四半期　　774百万円(―%)　　25年６月期第２四半期　　△174百万円(―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
26年６月期第２四半期	51.42	50.19
25年６月期第２四半期	△12.89	―

（注）平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で分割しております。１株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年６月期第２四半期	12,875	1,463	11.3
25年６月期	11,198	689	6.1

（参考）　自己資本　　26年６月期第２四半期　1,457百万円　　25年６月期　　683百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
25年６月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年６月期	―	0.00			
26年６月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成26年６月期の連結業績予想（平成25年７月１日～平成26年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	7,200	18.8	1,200	115.8	1,100	127.7	1,200	531.6	82.47

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
１株当たり四半期純利益につきましては、平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で行われた株式分割の影響を考慮して記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　２社（社名）　㈱白河ウッドパワー、アールイー大分㈱

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報(注記事項)に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年６月期２Ｑ	14,550,100 株	25年６月期	14,550,100 株
②　期末自己株式数	26年６月期２Ｑ	― 株	25年６月期	― 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年６月期２Ｑ	14,550,100 株	25年６月期２Ｑ	14,550,100 株

（注）平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で分割しております。株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 平成26年１月１日を効力発生日として、普通株式１株につき100株の割合で分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

※　金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載しておりましたが、第１四半期連結会計期間及び第１四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第２四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、平成26年２月28日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）セグメント情報等 ……8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済成長政策や金融政策を背景に株価の上昇や円安が進行し、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、欧州債務危機問題の長期化やアジア新興国の経済成長鈍化、消費増税による消費減退が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当業界においては、依然として世論の原発再稼働への不安の声が強く、政府としても原発依存度を可能な限り低減させ、再生可能エネルギーの導入を推進するとの方針を示しており、当社グループが運営する木質バイオマス発電を含めた再生可能エネルギー分野は、今後も多方面から注目度、期待度ともにさらなる高まりを見せ、需要も拡大していくものと考えられます。

こうした状況の下、当社グループの省エネルギー支援サービス事業においては既存のオンサイト自家発電事業、業務系エスコ事業が堅調に推移したほか、ＬＥＤ照明、空調設備、太陽光発電設備の設置などの新規施工案件が売上高伸展に寄与しております。一方、第１四半期会計期間に一部プロジェクトにおいて事業スキームの見直しから将来投資回収の可能性に懸念のある資産について減損処理を実施したほか、子会社借入金の期限前返済に係る費用を特別損失に計上いたしました。グリーンエナジー事業の木質バイオマス発電所においては、７月に持分法適用関連会社であった株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得、連結子会社化し、事業に大きく貢献したほか、連結に際しては、特別利益に株式の段階取得に係る差益及び負ののれん発生益を計上いたしました。さらに９月には大分県豊後大野市にて新たな木質バイオマス発電事業を推進することを決定し、計画を推進中であります。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高3,751百万円（前年同期比41.0％増）、営業利益679百万円（前年同期比250.1％増）、経常利益606百万円（前年同期比662.5％増）、当第２四半期純利益748百万円（前年同期187百万円の損失）となりました。

（省エネルギー支援サービス事業）

当第２四半期連結累計期間においては、既存のオンサイト自家発電事業、業務系エスコ事業は大きなトラブルもなく順調な稼動となりました。また、固定価格買取制度を背景に太陽光発電設備の施工が続伸したほか、空調設備の更新、ＬＥＤ照明、断熱塗装等の施工も堅調に推移しております。

この結果、当第２四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、グループ内取引を含めた売上高では1,839百万円（前年同期比11.5％増）、外部顧客に対する売上高では1,787百万円（前年同期比8.3％増）、営業利益111百万円（前年同期比260.9%増）となりました。

（グリーンエナジー事業）

当第２四半期連結累計期間は、７月に持分法適用関連会社であった白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結子会社といたしました。これにより当第２四半期連結累計期間の期首より白河ウッドパワーの業績を連結に取り込んでおります。日田及び白河ウッドパワーの木質バイオマス発電所２基は、11月に定例の定期メンテナンスを実施し２週間程度停止いたしましたが、その他の期間においては前期から引き続き90%超の高稼働率を維持しており、また、木質チップ燃料の供給を担当するファーストバイオスについても、固定価格買取制度移行後も十分に燃料を収集、供給することができております。さらに、太陽光発電所のソーラーフィールド日田も見込を上回る日照量を得ることが出来、順調に稼働いたしました。こうしたことから本事業セグメントは引き続き増収増益となりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の本事業セグメントの業績は、売上高で1,963百万円（前年同期比87.5%増）、営業利益641百万円（前年同期比205.8%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は、売上高や借入金の増加による現金及び預金の増加や、株式会社白河ウッドパワー並びにアールイー大分株式会社を連結したことによる各資産の増加により、前連結会計年度末から1,676百万円増加し12,875百万円となりました。

負債合計は、白河ウッドパワー連結の影響の他、短期・長期借入金の増加により前連結会計年度末から902百万円増加し11,411百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があり、前連結会計年度末から774百万円増加し1,463百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の進捗を踏まえ、通期の業績予想の見直しを行った結果、平成25年８月14日に公表いたしました平成26年６月期（平成25年７月１日～平成26年６月30日）の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「平成26年６月期第２四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間より、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。また、子会社アールイー大分株式会社の重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年６月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	535	1,452
受取手形及び売掛金	838	870
原材料及び貯蔵品	176	190
繰延税金資産	108	174
その他	327	323
貸倒引当金	△23	△19
流動資産合計	1,962	2,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,491	3,117
減価償却累計額	△995	△1,220
建物及び構築物（純額）	1,495	1,897
機械装置及び運搬具	15,639	16,796
減価償却累計額	△9,160	△10,114
機械装置及び運搬具（純額）	6,478	6,681
工具、器具及び備品	70	112
減価償却累計額	△59	△88
工具、器具及び備品（純額）	10	23
土地	387	571
リース資産	609	602
減価償却累計額	△302	△341
リース資産（純額）	307	260
建設仮勘定	－	24
有形固定資産合計	8,680	9,460
無形固定資産		
電気供給施設利用権	109	119
その他	2	9
無形固定資産合計	112	128
投資その他の資産		
長期前払費用	88	73
長期預け金	248	186
その他	106	34
投資その他の資産合計	443	293
固定資産合計	9,235	9,882
資産合計	11,198	12,875

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年６月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519	520
短期借入金	130	480
1年内返済予定の長期借入金	710	827
未払金	184	311
1年内支払予定の長期未払金	1,042	1,041
リース債務	87	87
未払法人税等	45	127
賞与引当金	17	16
メンテナンス費用引当金	182	161
契約損失引当金	28	28
その他	222	144
流動負債合計	3,170	3,746
固定負債		
長期借入金	1,616	2,539
長期未払金	4,691	4,303
長期前受金	170	146
リース債務	245	195
資産除去債務	19	19
契約損失引当金	239	176
金利スワップ負債	103	93
長期預り金	251	189
固定負債合計	7,338	7,665
負債合計	10,509	11,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	△197	550
株主資本合計	802	1,550
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△119	△93
その他の包括利益累計額合計	△119	△93
新株予約権	6	6
純資産合計	689	1,463
負債純資産合計	11,198	12,875

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	2,661	3,751
売上原価	2,251	2,837
売上総利益	409	913
販売費及び一般管理費	215	233
営業利益	194	679
営業外収益		
受取利息	0	0
助成金収入	0	14
投資有価証券売却益	0	－
その他	1	2
営業外収益合計	1	17
営業外費用		
支払利息	47	53
支払手数料	－	36
貸倒引当金繰入額	55	－
その他	13	0
営業外費用合計	116	90
経常利益	79	606
特別利益		
新株予約権戻入益	0	－
段階取得に係る差益	－	12
負ののれん発生益	－	443
特別利益合計	0	455
特別損失		
減損損失	242	220
金利スワップ解約損	－	34
借入金中途解約損	－	28
その他	22	－
特別損失合計	265	283
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△185	777
法人税、住民税及び事業税	1	29
法人税等合計	1	29
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△187	748
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△187	748

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年７月１日 至　平成24年12月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年７月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△187	748
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	12	26
その他の包括利益合計	12	26
四半期包括利益	△174	774
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△174	774
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成24年７月１日 至 平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,649	1,011	2,661	2,661
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	36	36	36
計	1,649	1,047	2,697	2,697
セグメント利益	30	209	240	240

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差 額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	240
全社費用(注)	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	194

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては、242百万円であります。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成25年７月１日 至 平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	省エネルギー支援サービス事業	グリーンエナジー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,787	1,963	3,751	3,751
セグメント間の内部売上高又は振替高	52	―	52	52
計	1,839	1,963	3,803	3,803
セグメント利益	111	641	753	753

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差 額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	753
未実現利益消去	△13
全社費用(注)	△60
四半期連結損益計算書の営業利益	679

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの資産に関する情報

第１四半期連結会計期間において、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ「グリーンエナジー事業」セグメント資産が1,793百万円増加しております。

４．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「省エネルギー支援サービス事業」セグメントにおいて、一部のプロジェクトにつき収益性の低下に伴い売却価値を含めた資産の評価を行い、不採算が合理的に見積もられるサイトにおいて減損処理をいたしました。当該事象による減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては220百万円です。

「グリーンエナジー事業」セグメントにおいて、株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得し連結子会社化いたしました。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第２四半期連結累計期間においては443百万円です。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株式会社白河ウッドパワーの全株式を取得したことによる、段階取得に係る差益及び負ののれん発生益の計上により利益剰余金が455百万円増加しております。